

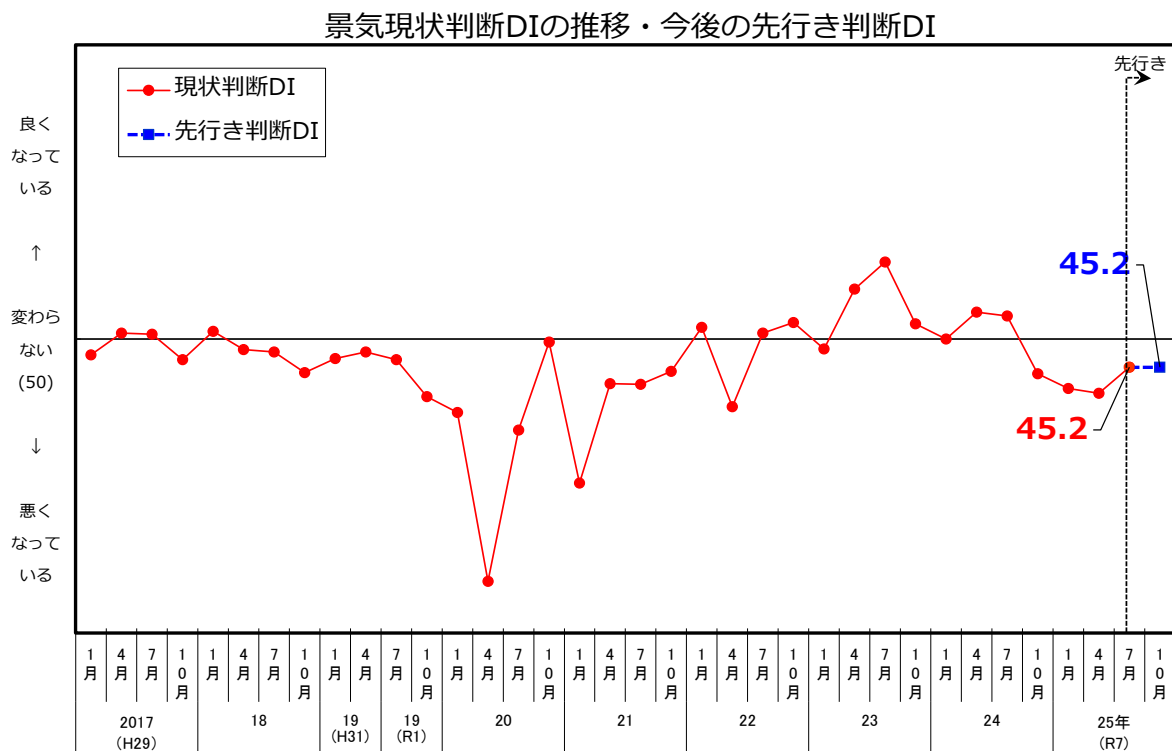
# 青森県景気ウォッチャー調査

## 【2025(令和7)年7月期】

調査期間 2025(令和7)年7月1日～2025(令和7)年7月17日 回答率99%

### 概 況

7月期の景気の現状判断DIは45.2となり、前期から4.4ポイント上昇したものの、前回調査（2025年4月期）に引き続き景気の横ばいを示す50を下回った。  
先行き判断DIは、現状判断DIと同水準の45.2となった。



2025(令和7)年7月

青森県総合政策部統計分析課

## 1. 結果概要

### (1) 3か月前と比べた景気の現状判断DI

#### ① 県全体の動向

前期調査と比べると、「良くなっている」が0.1ポイント低下、「やや良くなっている」が3.4ポイント上昇、「変わらない」が10.7ポイント上昇、「やや悪くなっている」が13.8ポイント低下、「悪くなっている」が0.3ポイント低下となった。

全体では45.2となり、前期から4.4ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、米をはじめとする物価高騰の影響で購買意欲が引き続き減少しているといった声や、消費行動に変化が見られるという声もあり、物価高騰による影響を訴える声が多く見られた。その一方で、インバウンドを含め、観光需要が高まっているとの声もあった。

#### ② 分野別の動向

前期調査と比べると、家計関連全体で4.0ポイント上昇、企業関連で4.7ポイント上昇、雇用関連で7.2ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

前期調査と比べて、東青では6.2ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50と同水準になった。津軽では6.6ポイント、下北（参考）では5.0ポイント上昇したものの、景気の横ばいを示す50を下回った。県南では前期調査と同水準であり、景気の横ばいを示す50を下回った。

### (2) 3か月後の景気の先行き判断DI

#### ① 県全体の動向

今期調査の現状判断DIと比べると、「良くなる」が同水準、「やや良くなる」が1.0ポイント低下、「変わらない」が1.1ポイント上昇、「やや悪くなる」が1.0ポイント上昇、「悪くなる」が1.0ポイント低下となった。

全体では45.2となり、今期調査の現状判断DIと同水準となり、景気の横ばいを示す50を下回った。

判断理由では、夏祭りやお盆時期の需要に対する期待の声のほか、参議院選挙後の変化への期待も見られた一方で、物価高騰に対する不安の声も多くあった。

#### ② 分野別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、家計関連全体で1.6ポイント低下、企業関連で2.8ポイント上昇、雇用関連で10.7ポイント上昇となった。

#### ③ 地区別の動向

今期調査の現状判断DIと比べて、東青では1.7ポイント上昇し、景気の横ばいを示す50を上回った。津軽では今期調査の現状判断DIと同水準であり、景気の横ばいを示す50を下回った。県南では0.8ポイント、下北（参考）では2.5ポイント低下し、景気の横ばいを示す50を下回った。

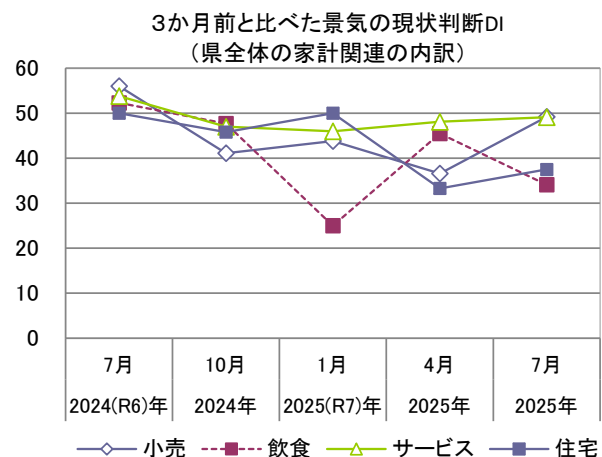
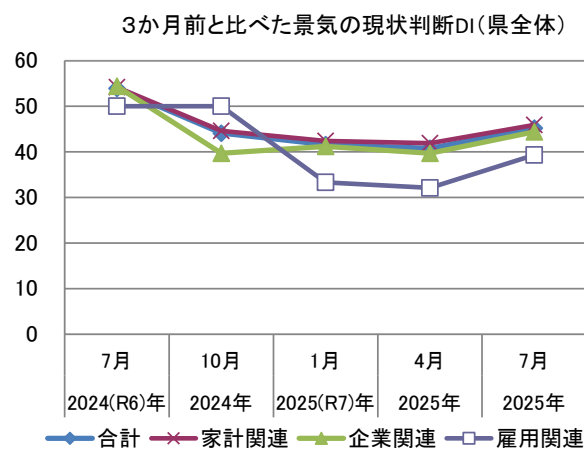
2. 県全体の動向

(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

①DI

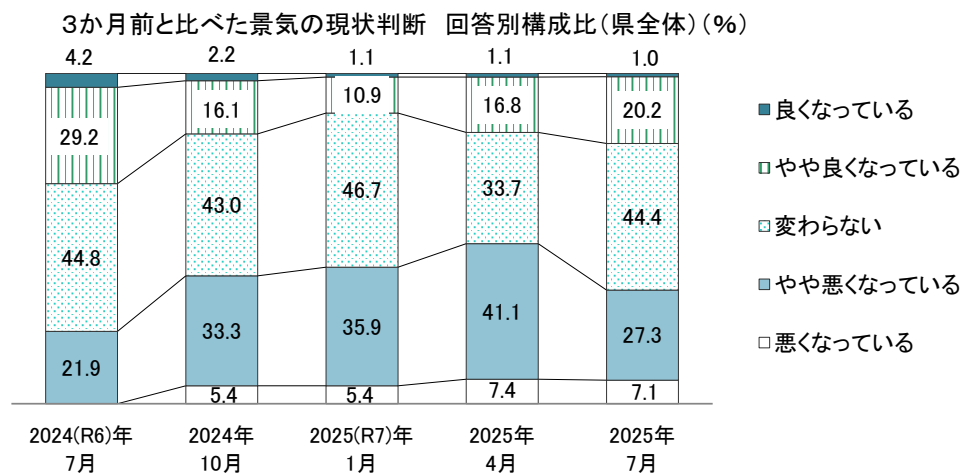
n = 99

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	53.9	44.1	41.6	40.8	45.2	4.4
家計関連	54.2	44.6	42.4	41.9	45.9	4.0
小売	56.0	41.1	43.8	36.6	49.2	12.6
飲食	52.3	47.7	25.0	45.5	34.1	▲ 11.4
サービス	53.8	47.0	46.0	48.1	49.1	1.0
住宅	50.0	45.8	50.0	33.3	37.5	4.2
企業関連	54.4	39.7	41.2	39.7	44.4	4.7
雇用関連	50.0	50.0	33.3	32.1	39.3	7.2



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
良くなっている	4.2	2.2	1.1	1.1	1.0	▲ 0.1
やや良くなっている	29.2	16.1	10.9	16.8	20.2	3.4
変わらない	44.8	43.0	46.7	33.7	44.4	10.7
やや悪くなっている	21.9	33.3	35.9	41.1	27.3	▲ 13.8
悪くなっている	0.0	5.4	5.4	7.4	7.1	▲ 0.3



(2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 99

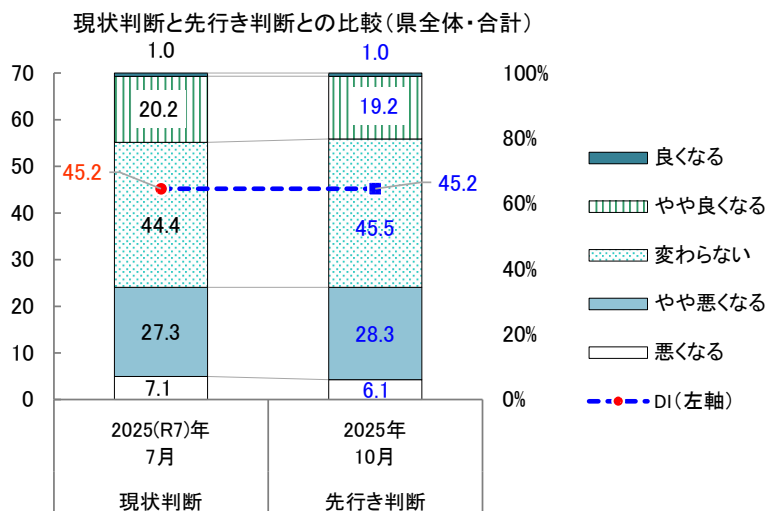
	2024(R6)年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	2025年 10月	前期調査 との差
合 計	53.9	44.1	48.4	43.4	45.2	1.8
家計関連	52.1	43.2	49.3	46.1	44.3	▲ 1.8
小売	50.0	41.1	47.3	42.0	45.8	3.8
飲食	52.3	52.3	47.5	50.0	38.6	▲ 11.4
サービス	54.8	43.0	51.0	51.9	46.3	▲ 5.6
住宅	50.0	37.5	54.2	33.3	37.5	4.2
企業関連	61.8	45.6	44.1	36.8	47.2	10.4
雇用関連	53.6	50.0	50.0	32.1	50.0	17.9

② 今期の現状判断D Iと先行き判断D Iとの比較

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
合 計	45.2	45.2	0.0
家計関連	45.9	44.3	▲ 1.6
小売	49.2	45.8	▲ 3.4
飲食	34.1	38.6	4.5
サービス	49.1	46.3	▲ 2.8
住宅	37.5	37.5	0.0
企業関連	44.4	47.2	2.8
雇用関連	39.3	50.0	10.7

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
良くなる	1.0	1.0	0.0
やや良くなる	20.2	19.2	▲ 1.0
変わらない	44.4	45.5	1.1
やや悪くなる	27.3	28.3	1.0
悪くなる	7.1	6.1	▲ 1.0



3. 地区別の動向

※下北地区については、サンプル数が少ないため、参考値とする。

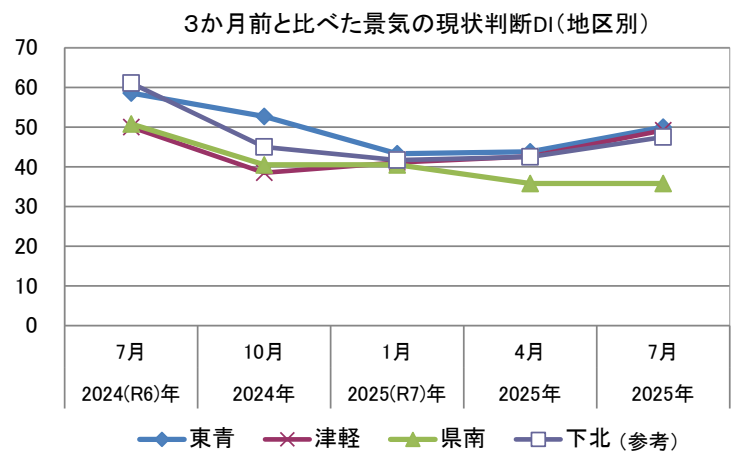
(1) 3か月前と比べた景気の現状判断

<地区別>

① D I

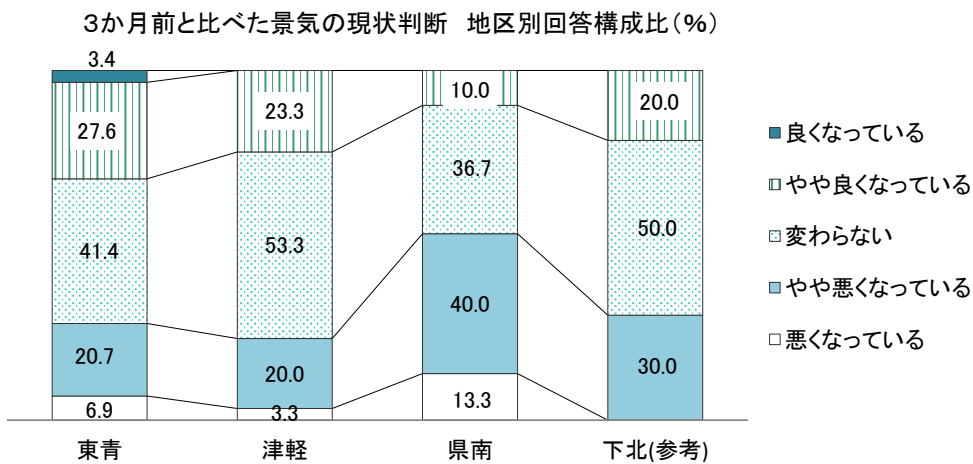
n = 99

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	53.9	44.1	41.6	40.8	45.2	4.4
東青	58.6	52.7	43.3	43.8	50.0	6.2
津軽	50.0	38.5	41.1	42.6	49.2	6.6
県南	50.8	40.5	40.5	35.8	35.8	0.0
下北	61.1	45.0	41.7	42.5	47.5	5.0



②地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなっている	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	27.6	23.3	10.0	20.0
変わらない	41.4	53.3	36.7	50.0
やや悪くなっている	20.7	20.0	40.0	30.0
悪くなっている	6.9	3.3	13.3	0.0



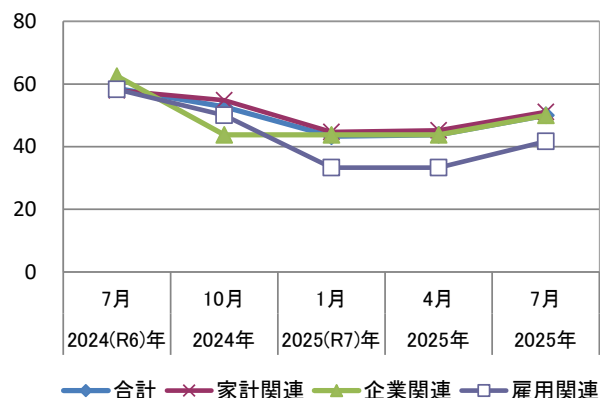
<東青地区>

① D I

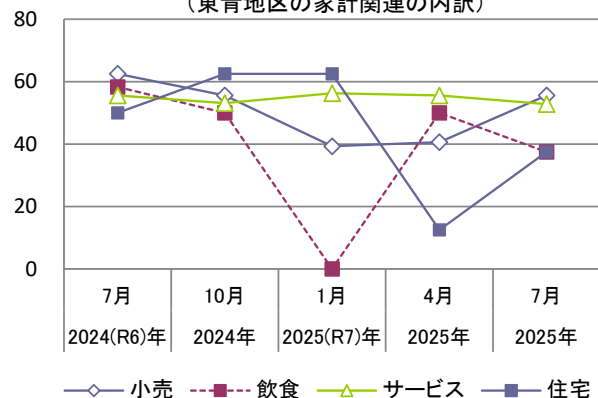
n = 29

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	58.6	52.7	43.3	43.8	50.0	6.2
家計関連	58.0	54.8	44.7	45.2	51.1	5.9
小売	62.5	55.6	39.3	40.6	55.6	15.0
飲食	58.3	50.0	0.0	50.0	37.5	▲ 12.5
サービス	55.6	53.1	56.3	55.6	52.8	▲ 2.8
住宅	50.0	62.5	62.5	12.5	37.5	25.0
企業関連	62.5	43.8	43.8	43.8	50.0	6.2
雇用関連	58.3	50.0	33.3	33.3	41.7	8.4

3か月前と比べた景気の現状判断DI(東青地区)



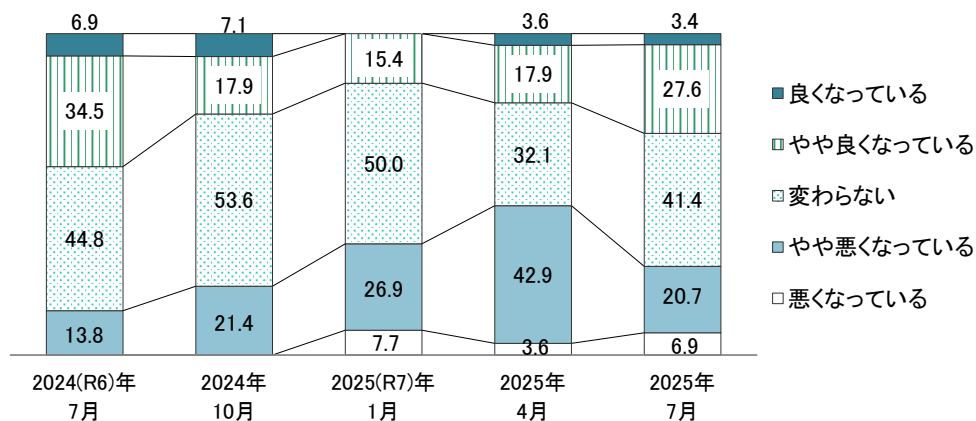
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(東青地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
良くなっている	6.9	7.1	0.0	3.6	3.4	▲ 0.2
やや良くなっている	34.5	17.9	15.4	17.9	27.6	9.7
変わらない	44.8	53.6	50.0	32.1	41.4	9.3
やや悪くなっている	13.8	21.4	26.9	42.9	20.7	▲ 22.2
悪くなっている	0.0	0.0	7.7	3.6	6.9	3.3

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(東青地区)(%)

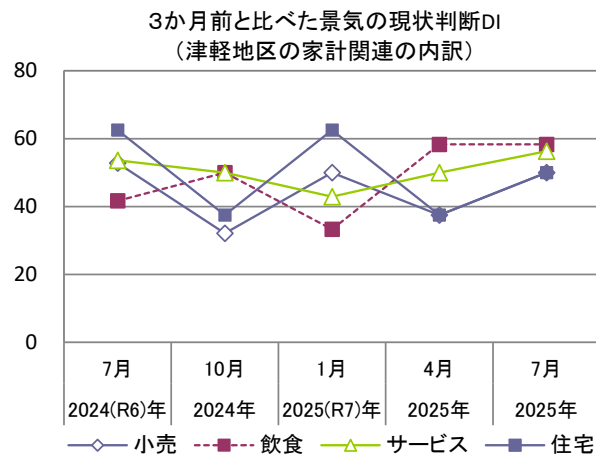
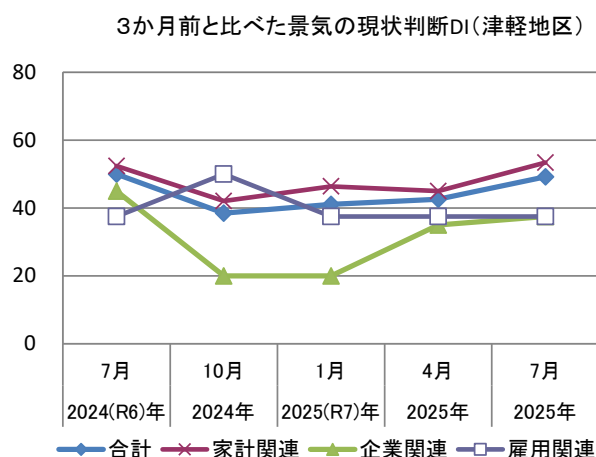


<津軽地区>

① D I

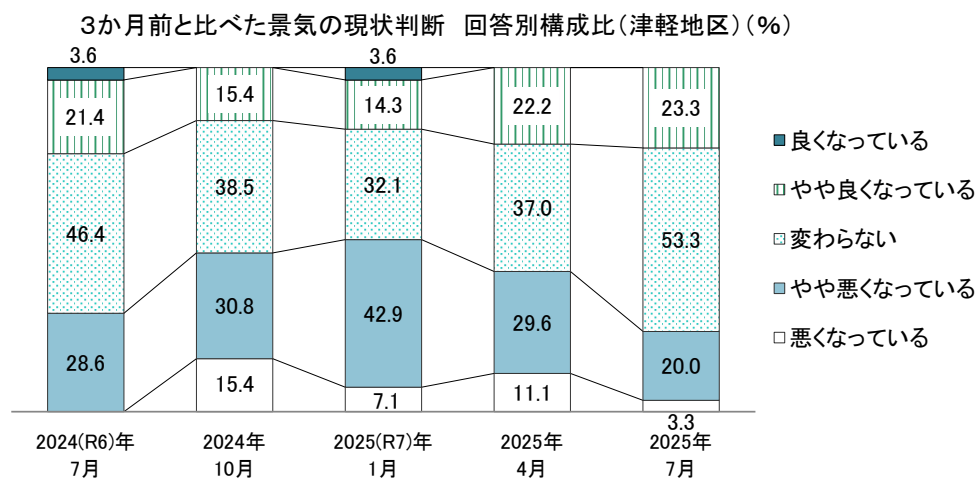
n = 30

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	50.0	38.5	41.1	42.6	49.2	6.6
家計関連	52.4	42.1	46.4	45.0	53.4	8.4
小売	52.8	32.1	50.0	37.5	50.0	12.5
飲食	41.7	50.0	33.3	58.3	58.3	0.0
サービス	53.6	50.0	42.9	50.0	56.3	6.3
住宅	62.5	37.5	62.5	37.5	50.0	12.5
企業関連	45.0	20.0	20.0	35.0	37.5	2.5
雇用関連	37.5	50.0	37.5	37.5	37.5	0.0



②回答別構成比(%)

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	21.4	15.4	14.3	22.2	23.3	1.1
変わらない	46.4	38.5	32.1	37.0	53.3	16.3
やや悪くなっている	28.6	30.8	42.9	29.6	20.0	▲ 9.6
悪くなっている	0.0	15.4	7.1	11.1	3.3	▲ 7.8



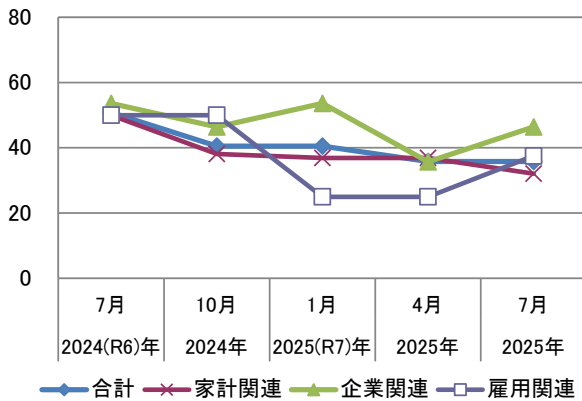
<県南地区>

①DI

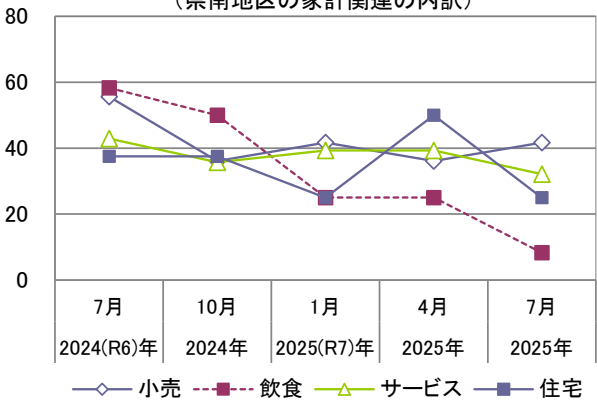
n = 30

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	50.8	40.5	40.5	35.8	35.8	0.0
家計関連	50.0	38.1	36.9	36.9	32.1	▲ 4.8
小売	55.6	36.1	41.7	36.1	41.7	5.6
飲食	58.3	50.0	25.0	25.0	8.3	▲ 16.7
サービス	42.9	35.7	39.3	39.3	32.1	▲ 7.2
住宅	37.5	37.5	25.0	50.0	25.0	▲ 25.0
企業関連	53.6	46.4	53.6	35.7	46.4	10.7
雇用関連	50.0	50.0	25.0	25.0	37.5	12.5

3か月前と比べた景気の現状判断DI(県南地区)



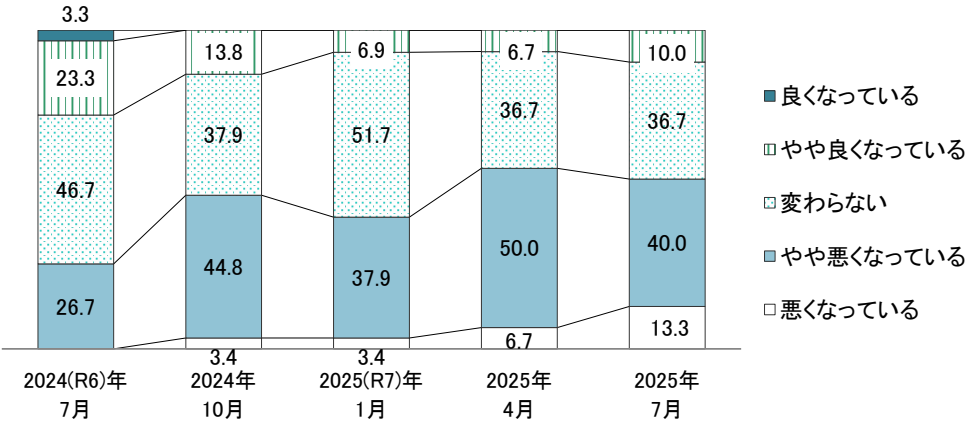
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(県南地区の家計関連の内訳)



②回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
良くなっている	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	23.3	13.8	6.9	6.7	10.0	3.3
変わらない	46.7	37.9	51.7	36.7	36.7	0.0
やや悪くなっている	26.7	44.8	37.9	50.0	40.0	▲ 10.0
悪くなっている	0.0	3.4	3.4	6.7	13.3	6.6

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(県南地区)(%)





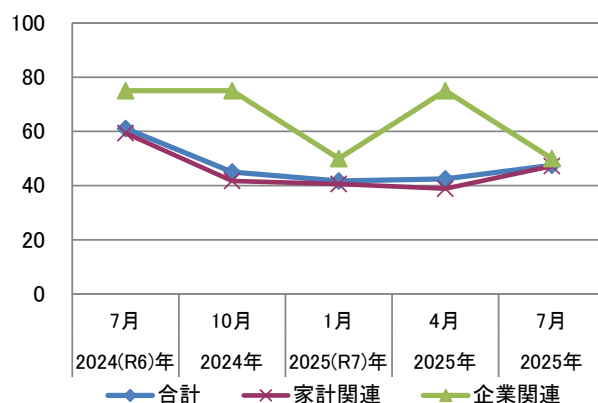
<下北地区> (参考)

① D I

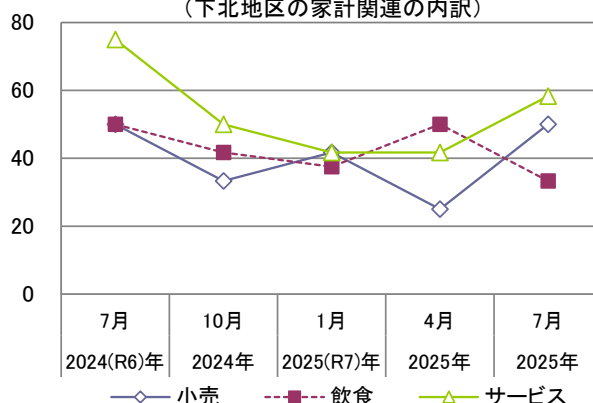
n = 10

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	61.1	45.0	41.7	42.5	47.5	5.0
家計関連	59.4	41.7	40.6	38.9	47.2	8.3
小売	50.0	33.3	41.7	25.0	50.0	25.0
飲食	50.0	41.7	37.5	50.0	33.3	▲ 16.7
サービス	75.0	50.0	41.7	41.7	58.3	16.6
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	75.0	50.0	75.0	50.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

3か月前と比べた景気の現状判断DI(下北地区)



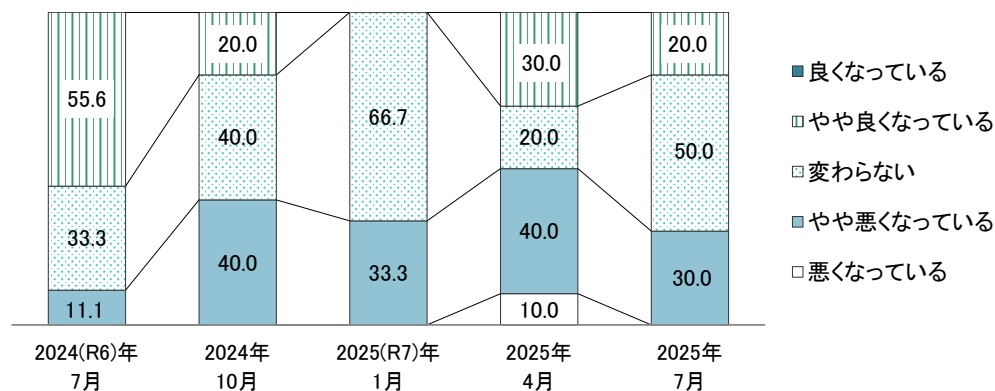
3か月前と比べた景気の現状判断DI  
(下北地区の家計関連の内訳)



② 回答別構成比 (%)

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
良くなっている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
やや良くなっている	55.6	20.0	0.0	30.0	20.0	▲ 10.0
変わらない	33.3	40.0	66.7	20.0	50.0	30.0
やや悪くなっている	11.1	40.0	33.3	40.0	30.0	▲ 10.0
悪くなっている	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	▲ 10.0

3か月前と比べた景気の現状判断 回答別構成比(下北地区)(%)



## (2) 3か月後の景気の先行き判断 ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

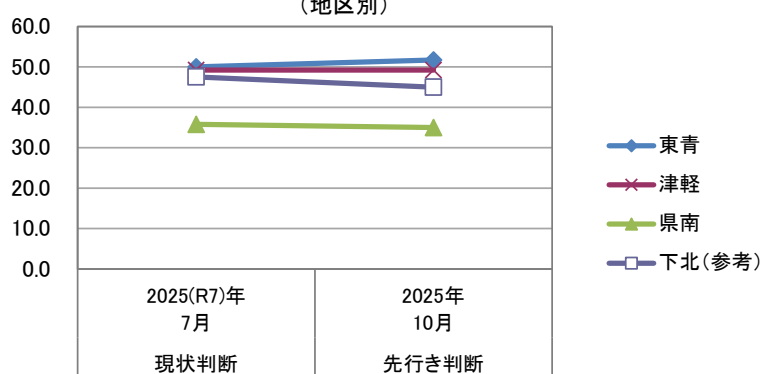
### <地区別>

#### ① 今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較

n = 99

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
合 計	45.2	45.2	0.0
東青	50.0	51.7	1.7
津軽	49.2	49.2	0.0
県南	35.8	35.0	▲ 0.8
下北	47.5	45.0	▲ 2.5

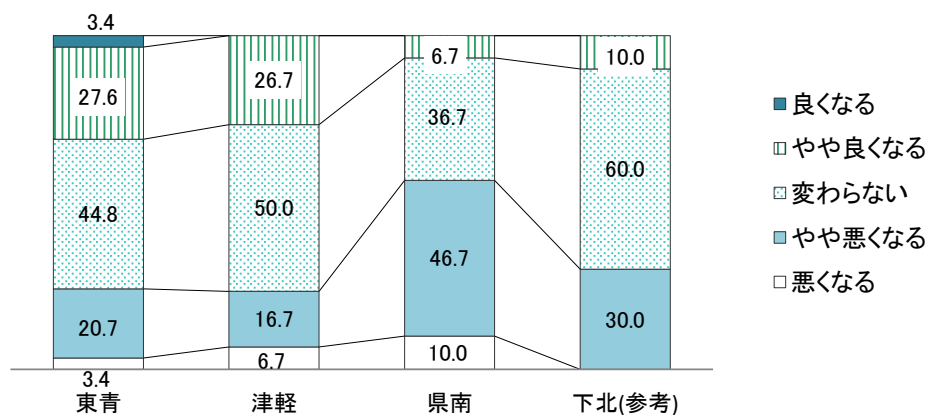
今期の現状判断DIと先行き判断DIとの比較  
(地区別)



#### ② 地区別回答構成比 (%)

	東青	津軽	県南	下北(参考)
良くなる	3.4	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	27.6	26.7	6.7	10.0
変わらない	44.8	50.0	36.7	60.0
やや悪くなる	20.7	16.7	46.7	30.0
悪くなる	3.4	6.7	10.0	0.0

3か月後の景気の先行き判断 地区別回答構成比(%)



<東青地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

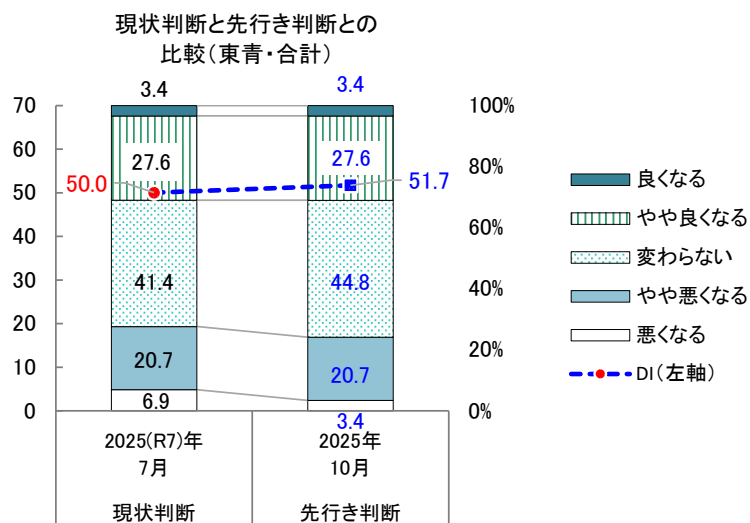
n = 29	2024(R6)年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	2025年 10月	前期調査 との差
合 計	62.1	44.6	52.9	48.2	51.7	3.5
家計関連	62.5	42.9	56.6	52.4	51.1	▲ 1.3
小売	65.6	41.7	50.0	50.0	52.8	2.8
飲食	66.7	62.5	62.5	62.5	37.5	▲ 25.0
サービス	63.9	37.5	56.3	61.1	55.6	▲ 5.5
住宅	37.5	50.0	75.0	12.5	37.5	25.0
企業関連	68.8	56.3	50.0	43.8	50.0	6.2
雇用関連	50.0	41.7	33.3	25.0	58.3	33.3

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
合 計	50.0	51.7	1.7
家計関連	51.1	51.1	0.0
小売	55.6	52.8	▲ 2.8
飲食	37.5	37.5	0.0
サービス	52.8	55.6	2.8
住宅	37.5	37.5	0.0
企業関連	50.0	50.0	0.0
雇用関連	41.7	58.3	16.6

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
良くなる	3.4	3.4	0.0
やや良くなる	27.6	27.6	0.0
変わらない	41.4	44.8	3.4
やや悪くなる	20.7	20.7	0.0
悪くなる	6.9	3.4	▲ 3.5



<津軽地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 30

	2024(R6)年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	2025年 10月	前期調査 との差
合 計	50.9	39.4	48.2	50.9	49.2	▲ 1.7
家計関連	47.6	40.8	50.0	51.3	48.9	▲ 2.4
小売	44.4	39.3	52.8	53.1	52.8	▲ 0.3
飲食	41.7	33.3	41.7	41.7	41.7	0.0
サービス	53.6	46.4	53.6	53.6	46.9	▲ 6.7
住宅	50.0	37.5	37.5	50.0	50.0	0.0
企業関連	60.0	30.0	35.0	50.0	50.0	0.0
雇用関連	62.5	50.0	62.5	50.0	50.0	0.0

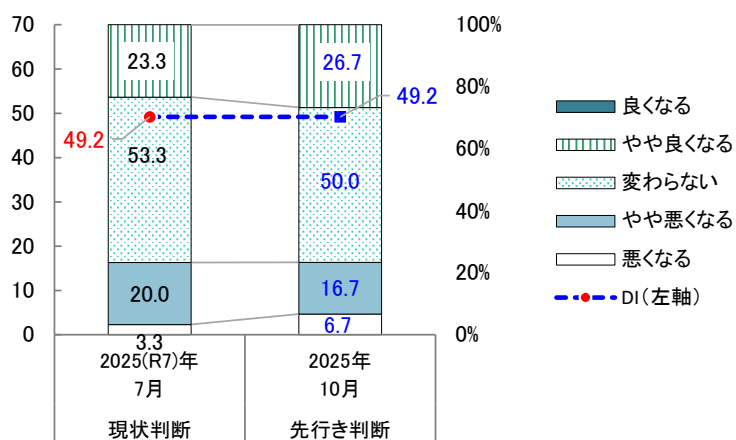
② 今期の現状判断D I と先行き判断D I との比較

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
合 計	49.2	49.2	0.0
家計関連	53.4	48.9	▲ 4.5
小売	50.0	52.8	2.8
飲食	58.3	41.7	▲ 16.6
サービス	56.3	46.9	▲ 9.4
住宅	50.0	50.0	0.0
企業関連	37.5	50.0	12.5
雇用関連	37.5	50.0	12.5

・ 回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	23.3	26.7	3.4
変わらない	53.3	50.0	▲ 3.3
やや悪くなる	20.0	16.7	▲ 3.3
悪くなる	3.3	6.7	3.4

現状判断と先行き判断との  
比較(津軽・合計)



<県南地区> ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 30

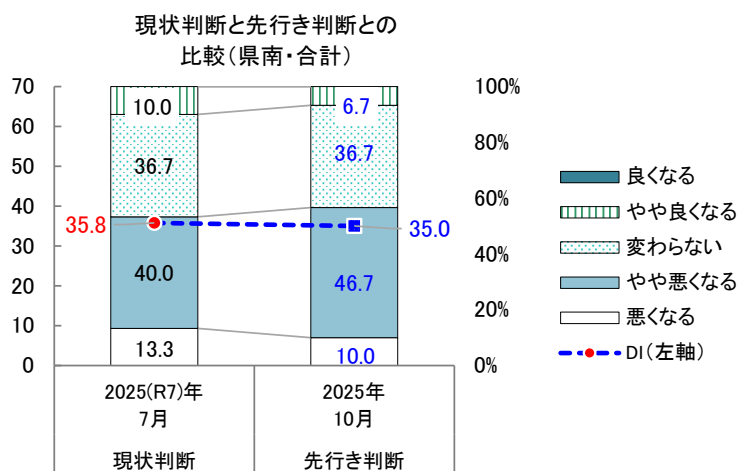
	2024(R6)年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	2025年 10月	前期調査 との差
合 計	49.2	49.1	43.1	30.0	35.0	5.0
家計関連	46.4	47.6	41.7	34.5	32.1	▲ 2.4
小売	44.4	44.4	41.7	27.8	33.3	5.5
飲食	58.3	66.7	41.7	41.7	25.0	▲ 16.7
サービス	39.3	50.0	39.3	39.3	35.7	▲ 3.6
住宅	62.5	25.0	50.0	37.5	25.0	▲ 12.5
企業関連	57.1	50.0	42.9	17.9	42.9	25.0
雇用関連	50.0	75.0	75.0	25.0	37.5	12.5

② 今期の現状判断 D I と先行き判断 D I との比較

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
合 計	35.8	35.0	▲ 0.8
家計関連	32.1	32.1	0.0
小売	41.7	33.3	▲ 8.4
飲食	8.3	25.0	16.7
サービス	32.1	35.7	3.6
住宅	25.0	25.0	0.0
企業関連	46.4	42.9	▲ 3.5
雇用関連	37.5	37.5	0.0

・回答別構成比 (%)

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	10.0	6.7	▲ 3.3
変わらない	36.7	36.7	0.0
やや悪くなる	40.0	46.7	6.7
悪くなる	13.3	10.0	▲ 3.3



<下北地区>（参考） ※表及びグラフでは各調査期の3か月後の月で表記

① D I

n = 10

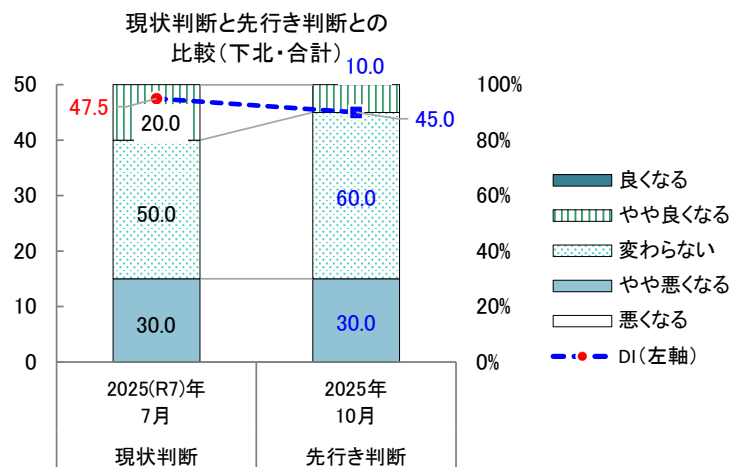
	2024(R6)年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	2025年 10月	前期調査 との差
合 計	52.8	40.0	52.8	50.0	45.0	▲ 5.0
家計関連	50.0	38.9	50.0	47.2	44.4	▲ 2.8
小売	41.7	33.3	41.7	33.3	41.7	8.4
飲食	37.5	50.0	50.0	58.3	50.0	▲ 8.3
サービス	66.7	33.3	58.3	50.0	41.7	▲ 8.3
住宅	-	-	-	-	-	-
企業関連	75.0	50.0	75.0	75.0	50.0	▲ 25.0
雇用関連	-	-	-	-	-	-

② 今期の現状判断D I と先行き判断D I との比較

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
合 計	47.5	45.0	▲ 2.5
家計関連	47.2	44.4	▲ 2.8
小売	50.0	41.7	▲ 8.3
飲食	33.3	50.0	16.7
サービス	58.3	41.7	▲ 16.6
住宅	-	-	-
企業関連	50.0	50.0	0.0
雇用関連	-	-	-

・ 回答別構成比（％）

	現状判断 2025(R7)年 7月	先行き判断 2025年 10月	差
良くなる	0.0	0.0	0.0
やや良くなる	20.0	10.0	▲ 10.0
変わらない	50.0	60.0	10.0
やや悪くなる	30.0	30.0	0.0
悪くなる	0.0	0.0	0.0



## 4. 判断理由

### (1) 景気の現状判断理由

現状	分野	地区	業種	理由
良くなっている	家計	東青	観光名所等	来館者が増加している。
やや良くなっている	家計	東青	一般小売店	夏、そして祭に向けインバウンド含めて観光需要が高まっている。
			百貨店・スーパー	気温上昇に伴い衣料品、服飾雑貨の需要が高くなってきたため。
			コンビニ	値上げが続いているけど、売り上げ客数は、やや伸びている。
			都市型ホテル	インバウンド需要が伸びている。
			タクシー	天候的なところ、特に気温上昇もあり結構動きが出ている状況です。また、アプリの利用も非常に高まってきている。
		津軽	商店街	3ヶ月前に働いていた職場に来られるお客様より、現在の職場に来られるの方が良さげ。
			都市型ホテル	観光景気は、上々に戻りつつあり、外国人観光客の増加に伴う観光振興を図る。
		県南	卸売業	御中元の季節に向けて、ギフト需要が高まっているため。
		下北	百貨店・スーパー	備蓄米の出回りがあったり燃料等の価格の落ち着き等で少し多方面への消費に向ける意識が前進したような雰囲気がある。
			都市型ホテル	宴会等はほぼコロナ禍前に戻り、宿泊については満室の日が増え順調に推移していると思います。ただ、冠婚葬祭に関しては規模が小さくなり、なかなか以前のようにには戻りません。多分この形が普通になり、その分別の形でカバーしなければならないと思います。
	企業	東青	食料品製造	夏場を迎え、水産業界はさらに厳しい状況ですが、夏祭りに向けて前向きに取り組みつづめる（希望している）。
		県南	飲料品製造	アメリカ関税や米の価格の高騰などの景気関連の先行きに対する不安感が広がっていた状態から比べると現在はそれが多少薄れ、落ちついてみえる。一般市民の消費にもよい影響がでてるように思われる。また春から夏に向けてインバウンドを含む観光客の動きがよく、直売所などの売れ行きが好調。
			建設	米価の高騰が毎日のようにニュースに上がっているが、旅行や外食に出かける人が増加していて、ある意味値上げラッシュに慣れてきたのか、消費行動は以前より活発になってきた感じがする。
変わらない	家計	東青	卸売業	商品の価格改定が続き消費者が買い控えになっている。お米の価格高騰も影響がある。
			百貨店・スーパー	米の影響は大きいものの、商品の値上げにも慣れ、買い物行動に大きな変化は感じず。メリハリのあるお金の使い方、生活の仕方は継続していると考えます。
			家電量販店	物価高騰や、米国をはじめとする海外情勢に起因する経済の不確実性が続いているため。
			設計事務所	事業計画はあるが、建設費、人件費、働き方改革による工期延長で事業が進まず金融機関の融資も厳しい状況である。
			娯楽業	業績が上向くことなく横ばい状態です。
			エステ業	3か月の短期間では変わっていないようです。
		津軽	美容院	所得のアップが景気に追いつかないが、他の地域に比べて天気に恵まれているおかげで雰囲気が明るい。

現状	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	設計事務所	昨年、一昨年と比較して仕事量が少ないです。官公庁発注物件も民間物件もどちらも少ないという気がします。
			観光名所等	値上げ分がそのまま売上増加になっているだけで、購買意欲が高まっているとは感じていないため。
			レストラン	物価高騰による。
			家電量販店	食料品などの物価高は、依然として続いているのですが、6月から気温上昇で、エアコン、冷蔵庫等の販売は顕著に推移しています。昨年と比べ、あまり変わらないと感じています。
			コンビニ	SHIROFES等で少しは変化してくれば。
			住宅建設販売	お客様の動向に変わりがないため。小規模・中規模リフォーム工事は顕著です。
			衣料専門店	物価高、選挙、異常気象。
		県南	旅行代理店	物価上昇が他の売上、消費に追いついていない。米価10kg 4,000円、卵5kg 4,000円というように価格が倍になっていることなんてありえない。
			百貨店・スーパー	物やサービスの値上がりが続くが、収入が増えないため。
			タクシー	前年同月と比較しても、また3か月前と比較しても非常に厳しい状況。
			商店街	相変わらず、お米を中心に食品の価格が高い上に、中東の影響で原油等も高値で推移しそうだから。
			住宅建設販売	高額商品の購入は減少傾向にあるが、管内は米の価格が全国的に最安値など物価上昇が抑えられている。しかし、その反面賃金の上昇も抑えられているように感じる。
			家電量販店	物価高の影響や賃金問題が解消していないためと思われる。
			乗用車販売	温暖化に伴い、熱中症対策での環境整備を行って、夏場の時期を乗り越えたい。社員の健康管理に目を向け、労働安全を継続したい。
		下北	ガソリンスタンド	何から何まで値上げ値上げ。売り上げや利益は上がらないのに賃金も上げなければならないし。都会のようにインバウンドの恩恵があればいいのですが。
			コンビニ	物価が高くなり、安いものだけを求める。
やや悪くなっている	企業	県南	経営コンサルタント	物価高が継続しており、トランプ関税についても交渉がどのような結果となるか先が見通せない状況となっているため。
		下北	食料品製造	物価が高いので変わらないように思います。
	雇用	津軽	新聞社求人広告	宣伝、広告費について、より費用対効果を求める傾向や食費等の節約志向はうかがえるが、屋内外のイベントが多々開催されており、連日多くの人でにぎわっているのを報道で見聞きするから。
			衣料専門店	景気観測地点は自店と、各種会合での話題からになりますが、春の陽気からも上向きになっていないようです。
	家計	東青	住宅建設販売	物価高騰に歯止めがかかる様子がなく高額商品の購入に慎重になっている。県外や国外の観光に関しては上向きのように感じるが、県民まで浸透していない。
		津軽	百貨店・スーパー	物価の上昇に歯止めがかかっておらず、昨年度のような減税などの具体的な対応策もなくコスト増に苦しんでいるように見受けられる。



現状	分野	地区	業種	理由
やや悪くなっている	家計	津軽	一般小売店	賃上げにより、少し収入が増えても、物価の上昇が凄まじい。特に食品がひどい。
		県南	ガソリンスタンド	食料品をはじめとした物価上昇が続いていること。
			観光名所等	高温続きのためか、果樹(主にさくらんぼ)が不作で、高値でもあり、売上が大幅に減少した。
			コンビニ	物価の上昇に給料がついていけない。
			衣料専門店	物価高による消費活動の縮小。
			一般小売店	ほとんど全ての物価と公共料金等が高止まりなのに所得向上が全く追いつきそうにない。
		下北	レストラン	物価高がとまらない。ガソリンや米など。
			一般飲食店	単純に物価高かと思います。
	企業	東青	建設	仕事量は横ばいだが、資材・人件費の高騰が続いている。
		津軽	広告・デザイン	物価高騰、ガソリン代等の高騰は状況的に変わっていないと考えたため。
			電気機械製造	物価の上昇が止まらない。
		県南	電気機械製造	トランプ関税や世界的な戦争発生で仕事の見通しを明示しない(又はできない)取引先が多い。
			食料品製造	消費者の節約志向。
	雇用	東青	人材派遣	人材オーダーが春先に比べて落ち込んでいる。一部サービス業は景気向上きの様子ですが、第一次産業等は物価高で経費圧迫されていると思うように粗利が出ていないように感じる。
		県南	新聞社求人広告	物価高。
悪くなっている	家計	東青	一般飲食店	日々の仕事やお客さまの様子を見ていると、明らかに「財布の紐が開かない」空気を感じます。お客さま一人あたりの注文数が減っていたり、以前なら追加で頼まれていたメニューが見送られたりと、慎重な消費行動が目立ちます。背景には物価高の影響が大きく、日常の生活費がかさんでいる分、外食や娯楽に回す余裕がなくなっているのだと感じます。また、最近はカード支払いが圧倒的に増えており、現金をなるべく減らして管理しようという意識が強くなっているようです。支払い方法ひとつとっても、景気への警戒感が表れていると思います。
			美容院	お客様の声は、物価高でしょう。なんでも上がりましたから。
		県南	スナック	物価の高騰。
			レストラン	3か月前よりも管内市街に人が居ない。歩いていない。地元民が中心街に来ない。
			美容院	来店回数が極端に少なくなりました。やはり食事や健康の方が優先されていると思います。
			設計事務所	仕事が少ない。

## (2) 景気の先行き判断理由

先行き	分野	地区	業種	理由
良くなる	家計	東青	観光名所等	お祭り、お盆と観光のハイシーズンとなるから。
やや良くなる	家計	東青	一般小売店	夏祭、お盆、秋の観光、人が動けばお金が動く。
			工ステ業	働き方や仕事の種類など工夫しているよう。
			都市型ホテル	前年同日比で数値が伸びている。
			百貨店・スーパー	通常開催となった各地区の夏祭りやイベントにより、人の動きが前年以上に活発になると見込める。その恩恵で秋以降の消費にプラスが見られそうのため。
			タクシー	交流人口の増加や秋にかけてインバウンドの更なる増加が見込まれる。
		津軽	商店街	今の職場に来られる方々は、お金にとらわれず自分の好きな事を自由に行動されているようでした。
			美容院	参院選後の政局の流れ、抜本的な変革に期待したい。
		下北	一般飲食店	希望を込めて。
	企業	東青	広告・デザイン	参院選終了後、色々と変化が見られそう。
			食料品製造	夏休み・盆休み・ねぶた祭に期待している。
		津軽	経営コンサルタント	これからねぶた祭り、お盆の帰省客が増えることに期待したい。
			食料品製造	参院選の選挙の結果で少しは変わるのかと期待をこめて。
		県南	飲料品製造	これから夏の祭りの時期に突入で人流も活発化、観光客の入れ込みにも期待ができる。ただ漠然とした景気に対する不安が感じられ、それが多少ブレーキ要素か。また物品の値上げの流れが続いている。弊社も実施は先であるが商品の価格改定の案内を始めた。
	雇用	東青	人材派遣	選挙の結果次第だが、物価高政策で全体的に恩恵のあるような政策が打たればやや上向きになるのではないかと。
		津軽	新聞社求人広告	米価高騰が落ち着けばやや良くなると思う。ただ、夏場の高温による農作物への影響が生産量にどう響くかは心配である。
変わらない	家計	東青	商店街	引き続き、食料品を含めた物価の先高感が不安材料です。
			一般飲食店	日々の仕事やお客さまの様子を見ている、今後3か月で景気が明確に良くなる材料が見当たりません。たしかに夏には青森の「ねぶた祭り」といった大型イベントが控えていますが、それによって一時的に人出が増えても、それが実際の消費や景気の底上げにつながるかは不透明です。また、昨今の状況を見ていると、何が起きるかわからない不安感もあり、総じて慎重な見方をせざるをえません。むしろ「現状維持でできれば良い方」という感覚で、しばらくは様子を見ながらの営業が続きそうです。
			旅行代理店	物価高(米、ガソリン)のストップの兆しが見えないから。
			娯楽業	物価上昇に収入が追いついていない感じです。
			百貨店・スーパー	食料品の客単価が下がっており、より安さを重視する購買傾向がみられるため。
			卸売業	食品等の価格改定が続いているため、消費が厳しくなっている。
			設計事務所	事業予算と現状価格があまりにもかけ離れており、事業者が現状価格を受け入れるにはまだまだ時間がかかると思う。
			家電量販店	今後の物価動向などが不透明なため。

先行き	分野	地区	業種	理由
変わらない	家計	津軽	設計事務所	設計業務受注は冬春が一番多い時期ですので、これから3か月先まで飛躍的に伸びるということはないのかなと思います。
			一般小売店	賃上げ率より物価の上昇率が高いので、景気はやや悪いまま推移すると思う。
			娯楽業	良くなる要因が今の所見当たらない。
			衣料専門店	物価高。景気が悪いのでお金を使わない。
		県南	タクシー	参議院選挙後の政策に期待したいところはあるが、すぐにどうこう変わるとは思えない。
			観光型ホテル・旅館	物価高騰は続いているものの、景気後退といえるほどの影響は出ておらず、全体的な傾向に大きな変化はないと想定している。
			レストラン	中心街に魅力的な施設がない。郊外で買い物を済ませる人が増えていて中心街の来訪者はこのまま変わらないと思う。
			百貨店・スーパー	今後も食品の値上げが続いていく中、益々の生活防衛が見られる可能性がある。しかし、お盆商戦のハレの日は期待したい。
			一般小売店	消費の抑制は所得の少ない者から始まると認識しているが、特に主食である米の話題が大きくマスコミに報じられたが、今後の明確な解決策が見えていない。
			美容院	参議員選の結果、景気がどうなるかにかかっていると思います。
			商店街	改善に向かう要素が見当たらないから。
			百貨店・スーパー	物やサービスの値上がりが続くが、収入が増える見込みがないため。
		下北	都市型ホテル	今の状況からまだ伸びる可能性はあるものの、暫くはこの状況が続くと思います。また大きく落ち込む事もないでしょう。
			ガソリンスタンド	夏祭りやお盆の帰省で潤う部分があると思いますが、物価高で財布の紐も硬くなっているのではないのでしょうか。
			コンビニ	小銭を多用している。
	企業	津軽	電気機械製造	向こう三カ月は受注が旺盛のため。
		下北	食料品製造	いろいろ物価が高いまま、あちこちで値上げがされているので、良くなるには時間がかかりそうな気がします。
	雇用	東青	新聞求人広告	異常気象による猛暑、災害への不安。さまざまな商品、サービスの値上げなど、社会、経済を見渡したときに、不安材料しか見当たらない。
やや悪くなる	家計	東青	コンビニ	値上げが続くのでそろそろ限界が近づいている。
			レストラン	年々、暑さが増して食欲が落ちるのでは(毎年のデータで7、8月は売り上げが落ちる)。観光客も簡単な食事を好むと思う。
			ガソリンスタンド	気候変動の影響で、ホタテなどの魚介類や野菜、果物の収穫量が減少し、一次産業が縮小する。
			住宅建設販売	各制度改正により建築業に関して言えば右肩下がりが続くと思われる。ただしリフォームに関しては前年以上に実施件数が増えているため新築よりも中古やリフォームを中心に考えていかないと厳しい。
		津軽	百貨店・スーパー	物価上昇は継続的と考えているから。
			都市型ホテル	高齢化が進む事で労働力不足になっていく。
		県南	衣料専門店	物価高による消費活動の縮小。
			旅行代理店	7月も物の値段が上がっている状況を見ると当社の仕事については、よい状況ではない。

先行き	分野	地区	業種	理由
やや悪くなる	家計	県南	卸売業	休みでの帰省や旅行が終わり、地域の飲食店等の需要が落ち着くため。
			観光名所等	天候に左右されやすいため、良くなるとは思われない。
			家電量販店	選挙の結果によるが、関税問題で不安感がある。
			ガソリンスタンド	物価の上昇に、可処分所得が追いつかないことから。
			乗用車販売	自動車業界にとって、トランプ関税等のマイナス的要素が加わり、景気の後退に繋がりがかねない。
		一般飲食店	物価高騰が維持されそうだし、気候変動で購買意欲が減少しそうだし、各税金は、まったなしで知らせが来るし、良い事柄がまったくない。お客様も我々も我慢を強いられてる。その中での景気はしんどいの一言。	
		下北	レストラン	景気回復後の見通しが見えない。
			タクシー	毎年続く猛暑に、収穫物も減り、人間の体力も劣り、生産性も目減りしていると予想します。
	企業	県南	広告・デザイン	後継者問題、物価高騰問題、高齢化問題で営業継続が難しくなっている。
			経営コンサルタント	水産加工業においては、水揚げが回復する基調が乏しく、原料を確保することができなくて倒産する企業が出てくることが考えられるし、ゼロゼロ融資を受けた企業の倒産が、さらに増加することが見込まれるため。
電気機械製造			日本政府によるトランプ関税の交渉はしたたかさが足りず相手を怒らせてしまっている。自動車産業がダメージを受けると国内の多くの産業に悪影響大です。	
食料品製造			世界情勢の悪化。	
雇用		津軽	人材派遣	物価上昇が止まらない。消費者の買い控えや安価な商品への切り替えが増加している。またアメリカの日本に対する過大な関税措置が影響し、ここから更に景気は後退していくと思う。
悪くなる	家計	東青	美容院	高ければ高いなりに慣れてくるでしょうから。これからも物価は上がるので、それに合わせて日々節約していくことになるでしょう。
		県南	スナック	物価の高騰。
			コンビニ	さらなる物価上昇で買い控えが予測される。
			設計事務所	良い兆候がない。

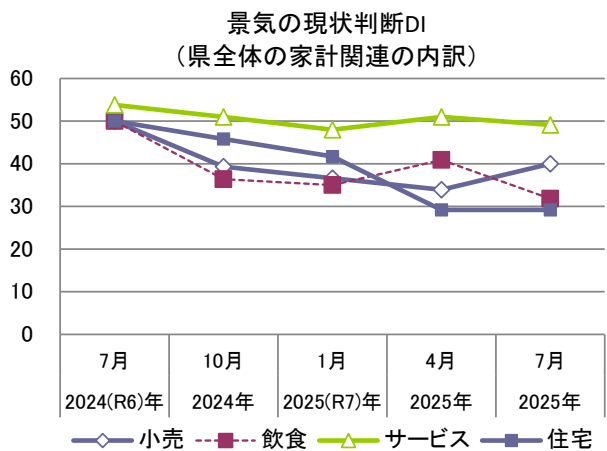
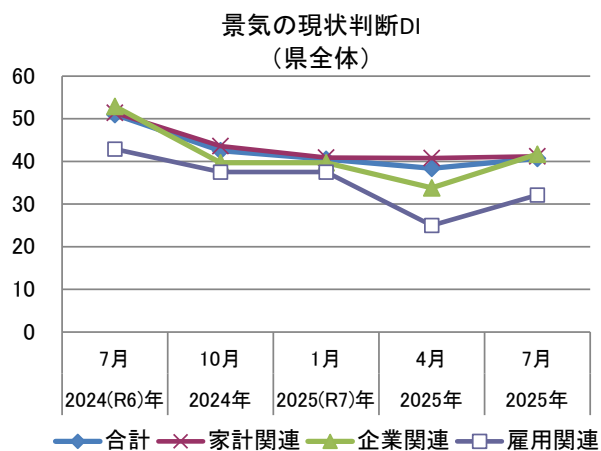
5. 参考

(参考1) 景気の現状判断

①DI

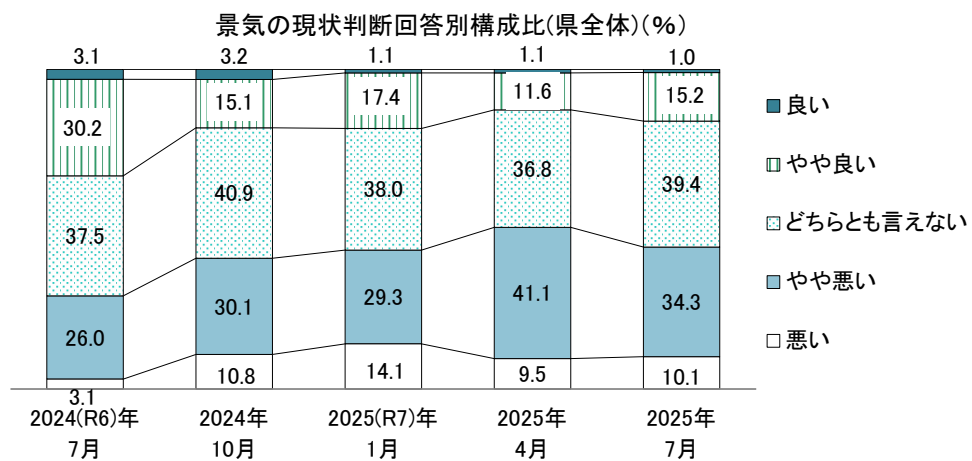
n = 99

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	51.0	42.5	40.5	38.4	40.7	2.3
家計関連	51.4	43.6	40.9	40.8	41.2	0.4
小売	50.0	39.3	36.6	33.9	40.0	6.1
飲食	50.0	36.4	35.0	40.9	31.8	▲ 9.1
サービス	53.8	51.0	48.0	51.0	49.1	▲ 1.9
住宅	50.0	45.8	41.7	29.2	29.2	0.0
企業関連	52.9	39.7	39.7	33.8	41.7	7.9
雇用関連	42.9	37.5	37.5	25.0	32.1	7.1



②回答別構成比 (%)

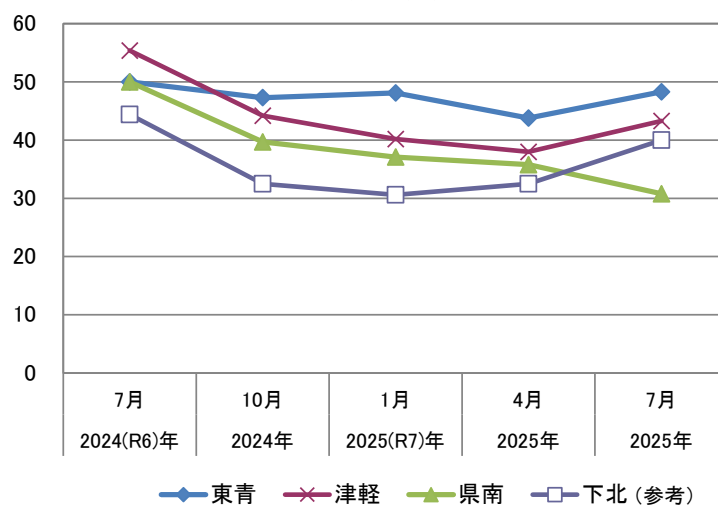
	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
良い	3.1	3.2	1.1	1.1	1.0	▲ 0.1
やや良い	30.2	15.1	17.4	11.6	15.2	3.6
どちらとも言えない	37.5	40.9	38.0	36.8	39.4	2.6
やや悪い	26.0	30.1	29.3	41.1	34.3	▲ 6.8
悪い	3.1	10.8	14.1	9.5	10.1	0.6



③地区別D I

	2024(R6)年 7月	2024年 10月	2025(R7)年 1月	2025年 4月	2025年 7月	前期調査 との差
合 計	51.0	42.5	40.5	38.4	40.7	2.3
東青	50.0	47.3	48.1	43.8	48.3	4.5
津軽	55.4	44.2	40.2	38.0	43.3	5.3
県南	50.0	39.7	37.1	35.8	30.8	▲ 5.0
下北	44.4	32.5	30.6	32.5	40.0	7.5

景気の現状判断DI  
(地区別)



(参考2) その他自由意見

分野	地区	業種	自由意見
家計	東青	観光名所等	外国人もいるが、日本人の旅行客の方が増加していると感じる。
		美容院	財布の紐を締める時が来たのでしょうか。子供さんのいる家庭はそれなりに出るものは、決まっているでしょうけど、主婦は大変だと口々に言ってます。
		設計事務所	日本国内の経済悪化状況に関わらず、脱炭素社会の実現に資する法改正をする度に企業が疲弊している。目標実現は確かに大切なことではあるが、日本の経済を見据えてもう少し目標をゆっくり進めるなど変えていく必要を感じている。
	津軽	コンビニ	管内でのイベントに期待したい。
		百貨店・スーパー	管内は特に変化も無く、今まで通り大型店の閉店（百貨店や総合スーパー）以降、市内のスーパーや百貨店が前年から伸長している。
		一般小売店	商店街の百貨店が破産して1年近くたつが、商店街への来客は目に見えて減っている。市や、商工会議所に何か手を打ってほしい。
		都市型ホテル	地域経済の衰退、企業の撤退、商店の閉店。
		住宅建設販売	今のインフレは、地域格差を生むだけ。地方の時代というものの、人の流れ(人口流出やIターン、Jターンもなく)が理想通りにならない。
	県南	コンビニ	原材料の高騰分を価格に転嫁できず、経営を継続するか悩んでいる事業主の方が沢山いるのではないのでしょうか。
		百貨店・スーパー	たまごの価格が高値で推移しています。年明け以降、こんなに値下がりしないのは、記憶にありません。管内や近郊では、ドラッグストアと葬祭施設の建設が続いています。しばらく手つかずだったパチコン屋さんが閉店した跡が整地されたり、解体されたりしています。新しい施設が増えて、雇用が生まれ、経済が上向きになることを期待しています。
		商店街	例年よりも暑いせいで、エアコンの使用が早く、電気代がかかりそうだ。
		一般飲食店	社会の考え方は、中央をベースにしたとらえ方で進んでいるように思われますが、ローカルは都会と同じに、ベースアップできるわけないし、また都会と同等な値上げも難しいと考えられます。ローカルを見捨てない支援を考えなければ、どんどんお店が減少するのでは。人口もどんどん減少、我々の力だけではと思う。
		タクシー	ここ数年で県内外の同業者の淘汰が始まっている。乗務員等人員確保が急務であり、継続的課題になっている。
		美容院	商品の値上げ宣言がニュースになっている間は自身を守るために飲食の方がウェイトが大きいと思います。
企業	東青	経営コンサルタント	税収が75兆円台となり最高を更新している。物価高や賃上げ、企業業績の拡大で消費税や法人税の税収が伸びたとみられる。青森県では県内企業の75%が賃上げをしている。運送業などの残業規制などによる人手不足のため、離職防止のためが賃上げの主な理由であるが、賃上げできない企業の主な理由は、原材料価格の高騰、コスト増を価格転嫁できないためとみられている。人材確保のため持続性に無理がある状況で賃上げしている可能性があり、今後価格転嫁や生産効率を向上できない企業は倒産に向かうと思われる。県内企業の倒産は増加しているのが現状である。
		建設	やや大きな話かもしれないが、リーダーの資質がいかに大切かを痛感している。世界レベルでも国レベルでも、あるいは、県レベルでも。
	津軽	建設	青森県で備蓄米は行き渡るのか、値段が一向に下がっていない。その他食料品もどんどん値上がりしている。せめて消費税分だけでもなければと思う。近頃、南方で地震が頻発している。今後大規模な地震にならなければ。東日本大震災の様な大きな地震はもういない。
	県南	電気機械製造	新幹線が最近よく止まるので、来客が本県への出張を見送る例が出てきています。
		広告・デザイン	政府の対策への不満が大きい。政権交代も真剣に考える時。

分野	地区	業種	自由意見
雇用	東青	人材派遣	各企業で物価の上昇による経費で売上圧迫が見られている。
		新聞社求人広告	観光地は観光客が増えている一方、商店街には人通りが少ない。人を呼び込むため、さまざまなチャレンジをされていると思うのですが、何か妙案はないものか、と感じます。
	津軽	人材派遣	私の周りからは物価上昇の影響で日々生活が苦しくなっているとの話をよく聞く。一方で政府税収はここ数年最高値を更新しているようですが庶民に還元してほしいものだ。
	県南	新聞社求人広告	企業や団体の財布の紐が固くなってきている。



# 青森県景気ウォッチャー調査について

## 1. 調査の目的

統計データには表れないきめ細かな生活実感のある情報を収集し、県内景気動向判断の基礎資料とする。

### (1) 調査の範囲

県内を東青地区、津軽地区、県南地区、下北地区の4地区に分け、各地域における経済活動の動向を敏感に反映する現象を観察できる業種の中からおよそ30業種を選定し、そこに従事する100名を調査客体とする。

○地域別・分野別の客体数

地 区	対 象 地 域	調 査 客 体 数			
		合計	家計	企業	雇用
東 青	青森市とその周辺町村	30	23	4	3
	弘前市とその周辺市町村	30	22	6	2
津 軽	八戸市とその周辺市町村	30	21	7	2
県 南	むつ市とその周辺町村	10	9	1	0
下 北		100	75	18	7

○分野別の業種・職種

家計関連	小 売	コンビニエンスストア、百貨店・スーパー、乗用車販売、衣料専門店、家電量販店、商店街、卸売業
	飲 食	一般飲食店、レストラン、スナック
	サービス	観光型ホテル・旅館、都市型ホテル、観光名所等、旅行代理店、タクシー、美容院、ガソリンスタンド、娯楽業、エステティック業
	住 宅	設計事務所、住宅建設販売
企業関連	食料品製造、飲料品製造、紙・パルプ製造、電気機械製造、建設、経営コンサルタント、広告・デザイン	
雇用関連	人材派遣、新聞社求人広告、求人情報誌	

### (2) 調査事項

① 3か月前と比べた景気の現状判断とその理由

② 3か月後の景気の先行き判断とその理由

参考1 景気の現状判断

参考2 その他自由意見

### (3) 調査期日等

四半期に一度（1月、4月、7月、10月）実施し、翌月初旬に公表。

## 2. DIの算出方法

景気ウォッチャー調査におけるDI(ディフュージョン・インデックス)は、景気ウォッチャーによる景気の現状・先行き判断を示す指標で、景気の現状または先行きに対する5段階の判断それぞれの所定の点数に各判断の構成比(%)を乗じて算出している。

評価	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	1	0.75	0.5	0.25	0

※ 回答者全員が「(景気は)変わらない」と回答した場合、DIは50となるため、50が景気の方性を表す目安となる。

(本調査についてのお問い合わせ先)

〒030-8570 青森県総合政策部統計分析課 統計情報分析グループ

tel : 017-734-9166

fax : 017-734-8038